[Monthly PickUp]

新年の 年男・年女に 聞く 抱負

2025年は「巳年」。そして生まれた年と同じ十二支を迎える人を年男・年女と呼び、とても縁起が良いといわれます。新年を迎え、気持ちも新たな町内の年男・年女の人たちに今年の抱負を聞きました。

町の年男・年女（巳年生まれ）の人口

令和6年12月16日現在

2025年の町内の年男・年女の数は全部で2,042人。各年齢別の人数は上のグラフの通りです。

年女96歳

Saito Kiyoe

1929年（昭和4年）生まれ

散歩は自分の足で歩きたい

昔から家でじっとしていることが苦手で、畑で野菜やお花を育てたり、近所を散歩したりと外で過ごす方が好きでした。そのおかげで、今でも健康でいられるのかな。今年も自分の足で散歩ができるように健康第一を念頭に置いて、楽しく、気ままに過ごしていきます。

齊藤 喜與江さん（西ノ根宮内中島・24区）

年男84歳

Nishiguchi Kiyoshi

1941年（昭和16年）生まれ

仲間と一緒に御神輿を担ぐ

約30年前に御神輿を担ぐ燦燦会を結成し、会長を務めたこともあります。昨年、燦燦会結成30周年を迎えましたが、私は手術を受けるため、おうら祭りに参加できませんでした。昨年の悔しさを晴らすため、今年は絶対に御神輿を担ぎます。そのために、体力をつけておかないと。

西口 清さん（新中野・33区）

年女72歳

Kojima Setsuko

1953年（昭和28年）生まれ

推し活が元気の源

中学生の時から漫画が好きで、同じ趣味の友達たちと有名漫画家の家に行ったことも。その時にいただいた物は今でも宝物です。新しく販売されるグッズは、もちろん購入しています。推し活のおかげで今でも元気でいられているので、今年も元気の源である推し活を続けます。

小島 節子さん（前谷東原・2区）

年男60歳

Machida Setsuo

1965年（昭和40年）生まれ

災害の無い1年を願いながら

消防署長を務め、火災や救急などの対応に努めています。今年は、災害の無い1年を願いながら、消防団が更に魅力ある組織になることを目指し尽力します。個人的な抱負は、最近始めたベースが弾けるようになること。まずは、基礎を固めて、1日でも早く1曲弾けるようにします。

町田 節雄さん（天王元宿・5区）

年男12歳

Hashimoto Taimu

2013年（平成25年）生まれ

最高の仲間と挑む最後の大会

2人の姉の影響で小学校3年生からバスケットを始めました。リバウンドシュートが得意です。大好きな仲間と昨年は県大会に出場できました。1月最後の公式戦では1試合でも長く仲間とプレーしたいです。中学校では文武両道を目標に、興味のあるプログラミングも頑張ります！

橋本 大夢さん（上下西宿・7区）

年女24歳

Kurihara Mei

2001年（平成13年）生まれ

時間をつくって博物館へ

大学で平安文学を専攻し、当時の文化に触れるため博物館に通ったことも。短歌や俳句は意味を理解すると現代でも通ずるところがあって、興味深いです。昨年、就職をして友達と会う機会が減ってしまいましたが、今年は時間をつくり、友達と博物館に行きます。

栗原 芽生さん（谷中蛭沼・11区）

年男36歳

Nomura Kenjiro

1989年（昭和64年・平成元年）生まれ

家族と過ごす時間を大切に

結婚してから仕事が忙しく、妻と子どもに寂しい思いをさせてしまっています。先月第二子が生まれて思うことは、家族との時間を増やしたい。今年は働き方改革を行って、家族と過ごす時間を確保していきます。まだ、子どもたちは小さいですが、いつか野球を教えてみたいです。

野村 顕治郎さん（石打・20区）

年女48歳

Nakamura Junko

1977年（昭和52年）生まれ

感謝の気持ちを忘れない

そば打ちを始めて5年。多くの人にアドバイスをもらいながら続けています。年越しは私がそばを打って、夫がエビの天ぷらを揚げることが恒例になっています。今年の抱負はお世話になっている人にしっかり感謝を伝えることと、もっとおいしいそばを作ることです。

中村 淳子さん（大谷端宿赤東・31区）

年頭のごあいさつ

町長 **橋本光規**

あけましておめでとうございます。健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、1月1日に能登半島で大規模地震災害が発生し、また9月には同じ地域で豪雨にも見舞われるなど、災害の恐ろしさを再認識させられる年でした。あらためて心よりお見舞い申し上げますとともに、本町でも自助、共助、公助の備えをしっかりと整えていくよう各方面に働きかけていきます。

本町は、これまで第六次総合計画に基づいてさまざまな施策を展開し、まちづくりを進めてきました。令和7年度が現行計画の最終年度となるため、今年は新たな第七次総合計画策定の年となります。これまで重点としてきました「子どもを産み育てやすい環境の整備」や「産業の振興」を引き続き継続し、社会情勢の変化や町民ニーズも反映させながら次の10年間の施策の方向を定めていきます。

これからも「やさしさと活気の調和した夢あふれるまち〝おうら〟」の実現を目指し、職員一丸となって町政運営にあたってまいります。本年が皆様にとって輝かしい1年となりますことを心よりお祈り申し上げます。